

第37回

申込要・参加費無料

都島メディカル・カンファレンス

本会は、医師会と大阪市立総合医療センター、近隣の診療所・病院勤務の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心としたカンファレンスです。このカンファレンスを通して診療レベルが向上し、相互の信頼と親睦が深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

今回は“腎臓”をテーマに専門家でなくてもきちんと理解できるプログラムを企画いたしました。皆様と一緒に勉強したいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。裏面のFAX申込書でお申し込みください。

2025年 2月22日 (土)

15:00～17:00 (14:30 受付開始)

会 場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール
対 象：医療従事者

※資料などの準備の都合上、事前の申し込みをお願いしておりますが、当日の参加申し込みも可能です。

【症例①】 救急外来で遭遇する「尿が出ない」患者

総合診療内科担当部長 山口 利昌



救急外来では「尿が出ない」という訴えにしばしば遭遇します。しかし、「尿が出ない」と一口に言っても、尿が全く出ない、尿意があるのにちょっとしか出ない、そもそも尿意がない、など、その訴えはさまざまです。また、その訴えによって想定される疾患は異なり、対応も変わってきます。特に、救急外来では緊急度や重症度の高い急性発症の「尿が出ない」疾患の見落としがないか、常に注意を払う必要があります。

【症例②】 腎機能障害を来す内科疾患 ～日常診療に潜む膠原病を含めた内科疾患について考える～

総合診療内科副部長 中村 友之



総合診療内科は、様々な症状や検査などの原因精査のため、日々多くの紹介を頂いております。膠原病を含めた内科疾患では、腎機能障害を来す疾患が多くみられ、急速に進行し、迅速な対応が必要な場合があります。今回、日常診療に潜む腎機能障害を来す内科疾患の症例を通じて、総合診療内科の視点から日常診療のアプローチ、注意点について検討します。

【特別講演】 腹膜透析（PD）について

腎移植・透析部長 浅井 利大



慢性腎臓病が末期に至ると、腎代替療法が必要になります。PDは、血液透析（HD）、腎移植とならぶ腎代替療法の一つですが、我が国ではHDがほとんどを占めており、PDはわずか3.0%に過ぎません。しかし、HDと異なり通院の回数が少なく済み、循環動態への影響が少ないため、高齢者への導入も増えつつあります。これらの背景には最近の機器や透析液の進歩、そして地域連携による支援が挙げられます。「おうち透析」PDについて、当院での取り組みを含めて解説いたします。

【閉会あいさつ】

総合診療内科部長 後藤 仁志



主催：大阪市立総合医療センター【事務局】

総合診療内科

総合診療内科

【お問合せ】地域医療連携センター

後藤 仁志

山口 利昌

神谷・竹中

☎06-6929-3633 (直通)